



# 木もれ陽

No.78

2020.秋号



なでしこ苑入所者の皆さんの作品

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である

## 岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

### 岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべる済生の心で  
まことの医療・保健・福祉のサービスにつとめます

### 岡山県済生会のビジョン

#### (社会におけるポジション)

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

#### (事業経営の将来像)

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

#### (組織の人のあり方)

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2～9
- 憩いの丘…………… p10～11
- 備中荘…………… p12～13
- 宇垣荘…………… p14～15
- 玉松園…………… p16～17
- 和みの郷かなや…………… p18～19
- 新人紹介…………… p20
- トピックス…………… p21～22

## 施設全体行事

### コミュニティカフェを再開

コロナ禍で休業していたカフェを10月～再開しました。  
地域の皆さんから再開の要望も多く、運動不足、話し相手がないなどの相談も受けていましたので、地域の皆さんを対象に、広い会場で感染対策を入念に行って再開しています。  
コロナ禍で毎月開催できるかどうかわかりませんが、楽しんでいただけたらと思います。



### 部署別防災訓練を実施

10/28水

毎年、各部署で防災教育・訓練を行っています。多くの職員に防災意識を持っていただくことが目的です。皆さんに安心して利用いただける施設運営に努めます。





新型コロナ感染防止

大作  
対策

前回の木もれ陽で紹介させていただいた手作りの「ついでに遊び心を加えてみました。終わりのみえない制限に疲れてストレスを抱えながら生活している入居者様に少しでも気分転換していただきたく制作しました。芸術的な作品になったと思いませんか？自画自賛です。(笑)当初は試行錯誤で数テーブルに設置していましたが、現在は全ての食堂テーブルに設置しています。コロナと共生していきましょう！



セブンイレブンがやって来た！

～GOTO移動売店～



9月17日、済生会病院本院1階のコンビニがやよいの里にやって来ました。新型コロナ感染防止のため集団行事・レクリエーションが自粛ムード一色に染まる中、コンビニさんからの申し出があり実現したこの企画、外部から人を招き入れることに慎重な意見もありましたが、現在月2回実施しており入居者様にご好評いただいております。毎回この日を心待ちにしている入居者様が多いです。

毎回安全面への配慮から混雑を避けるため順番を決めて一方通行で買いに来てもらっています。当初は「すぐにはけるだろう」と予想しておりましたが、甘かったです。外出の自粛要請が始まってはや半年以上、我慢がいつまでも続くはずがありません。入居者様の購買意欲に火が付いたようでした。商品を手に取り真剣に悩む入居者様が多く、商品一つ一つに熱い

視線が注がれます。中には複数個のお菓子を大人買いする方もおられるので「最後尾の方まで商品が残っているだろうか？」毎回ヒヤヒヤ・ドキドキしながら見守り行き渡るとホッとします。

そんなこんなで客足が途絶えず、毎回予定時刻ギリギリまで販売していただいております。移動売店の予告を掲示した瞬間から問い合わせや要望をたくさんいただいていたこの企画、遠巻きに「様子見」の観衆まで集まり注目度の高さが伺えます。限られた時間ではありますが、♪～セブンイレブンいい気分～♪で毎回終わることが出来ています。

これからも入居者様からの要望や意見を聞きながらもっとお買い物を楽しんでいただけるよう努めていきたいです。

相談員 野上 雄介



## なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)

### 《敬老の日》

9月21日に敬老の日記念式典が行われました。  
今年の式典は感染予防の観点から、満100歳の方と各施設代表の方のみが参加する形式で行われました。

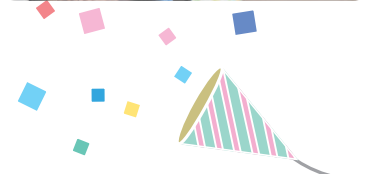
なごみ苑では満100歳になられる方が御一人おられ、当日はご家族代表として弟様が式典に参加されました。

西崎施設長より記念品を贈られているお姉さまの晴れ姿を見届けられ、弟様の大変嬉しそうな表情がとても印象的でした。



式典後はお姉さまに直接お祝いの言葉を贈られ、最後には記念のツーショット撮影をさせていただきました!!

どちらからともなく手を差し伸べられ、手を繋がれて写真撮影をされている姿に、まわりの職員もとても幸せな気分させていただきました。この度は誠にありがとうございました。



介護職員 井戸 富美子

### 《喫茶の日秋祭り》

10月29日に喫茶の日を兼ねた秋祭りを行いました。当日は3密にならないよう注意を払いながら、屋台を用意したり飾り付けを工夫するなどして、お祭り風の雰囲気を出してみました。今回はお菓子を「和」と「洋」からそれぞれ1種類ずつ選んでいただきました。「和」では華宵庵のわらびもち(きな粉味)とかぼちゃの練り切り。「洋」ではラ・セゾンフランセの生チョコサンドと、シュークリームを用意しました。飲み物も6種類の中から選んで飲んでいただきました。当初はおやつが2種類もあると量が多いのではないかと心配していましたが、そんな心配は杞憂に終わり、皆様美味しく完食されていました。また職員の出し物として手品を披露させていただきました。

3つの箱のいずれかに人形を隠して、どの箱に人形が入っているのかを職員が当てるという手品でしたが、皆様からは「どうして当てられるのか、仕掛けがわからん」などの言葉が聞かれ、不思議そうに楽しまれていました。今後も楽しく、美味しい喫茶の日を計画していきたいと思えます。



介護職員 新田 祐子



## お月見会

10月1日は、「中秋の名月」でしたね。皆様は、キレイなお月様が見られましたか？

当荘のご利用者様方にも、少しでも季節を感じて頂けたらと思い、サプライズで「お月見会」を行いました。

お抹茶やお饅頭を召し上がられながら、談笑に花が咲いておられました。お茶がたてられるご利用者には、ご自分でたてて頂きました。「お抹茶が美味しかった。」「またしてな〜。」との声が聞かれ、皆様喜ばれておりました。

その姿を拝見して、私たちも元気をもらいました。

看護職員 中務 喜代香

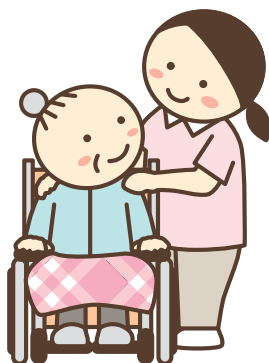


## Hug (ハグ)

みなみがた荘では、介護負担軽減のため、介護ロボットの導入を進めています。

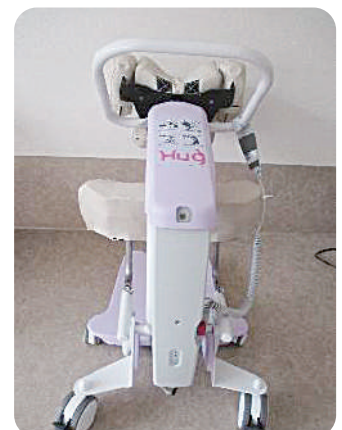
職員で研修を行い、現在導入を検討しているのが、Hugです。Hugとは、利用者様の座位間での移乗や立位保持のサポートをする機器です。

例えば、トイレ介助では、立位保持が困難な利用者様の負担が軽減されることが期待できます。また、人手が2人必要な介助を、Hugを使えば、ひとりで行えます。



介護は、基本的に、「人対人」です。介護ロボットは、ブレなく動き、介助します。その点が利用者様の安心につながり、利用者様に今までに感じたことのない刺激を与えるものだと思います。従来の「人対人」という介護の形に、ロボットの力を組み合わせたら、介護が大きく進化していくのではないかと思います。

介護職員 桑原 朋也





## なでしこ苑

介護老人保健施設

### 《8月の誕生日会》

暑さ真っ只中の8月。皆さんいかがお過ごしでしょうか。今年にはコロナ禍の中、なでしこ苑ではソーシャルディスタンスを保ちながら誕生日会でスイカ割りを行いました。スイカ割りは子どもから年配の方まで皆で楽しめる夏のアクティビティ。ご存じの方が多かったので、和やかな雰囲気の中スタートしました。

まずは職員が実際に行い説明をして「やってみたい方？」と問いかけるもシーン（汗）

「〇〇さんどうですかあ？」と聞いてみるも「いや、私はいいわあ…（笑）恥ずかしい…」と苦笑いをしながら控えめです。他に聞いてみても皆さん見てる方が良いのか笑いながらシーン。ですがやってみたくも…と思われる方もおられ背中を押されながらトップバッター参戦です！タオルで目隠しをして新聞紙で作った棒を持ち衛生上のため風船で見立てたスイカを置き、「では始めて下さい！」

いざ始まると「まっすぐまっすぐ、横横、ちょっと前、いけー！」と声が聞こえ、空振りすると「あー」と残念がる声が聞こえました。再度挑戦し、スイカに当たると「おおー！！」と言い拍手がわき皆さん笑顔。最初は恥ずかしかった方も徐々にされたり自ら手を挙げ「やりたい！」と言われる方もおられ、楽しい雰囲気の中行われました。

その後のおやつは皆さんで割ったと見立てたスイカを出して頂きました。

「スイカ好きじゃわー」「ああ美味しい」と喜んで食べていただき8月の誕生日会を行うことが出来ました。

介護職員 谷本 仁美



### 《秋の屋台》

少し秋めいた9月下旬、なでしこ苑では秋の屋台を開催しました。

秋の味覚、さつまいもで《芋ようかん》を作りました。栄養科で、さつまいもを美味しく蒸していただき、なめらかにつぶし砂糖を混ぜ、最後に黒蜜をトッピング。おいしそうな芋ようかんの完成です。ソーシャルディスタンスを守り、一人ずつ屋台で飲み物を選びます。甘酒にしようか、抹茶にしようか、皆さん選ぶことも楽しそうです。「甘酒、懐かしいわー」「こりゃー何なら」「おいしい、も一杯」など、中には「味がねー（無い）」とのご意見も。それでも笑顔でおしゃべりの花も咲きます。今年にはコロナに始まり、自粛、自粛の一年でした。まだまだ先は見えませんが、制約の多い中でも楽しい時間やホッとできる時間を皆様に過ごしていただけるようつとめていきたいです。



介護職員 山下 尚江

### 〈2F〉《気分をリフレッシュ♪》

9月8日(火)お楽しみ会ということで、風船バレーボールを行いました。レクルームにネットを準備して、久しぶりに皆さんと一緒に体を動かしてみることにしました。大きな風船を前に、出来るかなあ〜と心配そうな様子。最初は天井にぶつかったり、なかなか打ち返せなくて「あれー(笑)」と困り顔の皆さん…職員も風船を繋ぎます。徐々に慣れてくると打ち返せるようになりました。そのうち大きな風船を追う大きな瞳と笑い声が増えました。そして「フレイフレーツ 頑張っって!」と、よく通る美声の持ち主さん(利用者様)がラリーを盛り上げて下さいました。

10月5日(月)今回は手作り魚釣りゲームです。釣竿を持った手をそーっと伸ばします。タコやヒラメなど皆さん大物を狙って糸を垂らします。うまく磁石をくっ付けて獲物をゲット(^^)「釣れたよ!」「くつつかなあー?こっちな?」「あっ!落ちた」「やってみたら難しいなあ」などなど。ビニールシートの海から笑顔と一緒に魚も全部釣り上げて下さいました。

ご利用者の皆様と過ごす中で、「明るく朗らかにいること。よく笑うこと」は、大切だなと感じます。一緒に歩いたり、体操したり、レクリエーションをするなど、日々の会話や暮らしのなかにちょっとした笑いが見つかります。「一日一回大笑い」を目指して、利用者様と元気に笑顔で過ごしたいと思います。

介護職員 横田 雅子



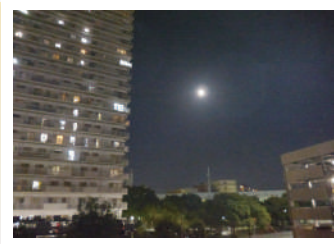
### 〈3F〉《中秋の名月》

10月1日。中秋の名月の夜、ある女性利用者の方が「あんた!月はどっちに見えるんで?」と尋ねてこられました。ちょうど東側に窓のあるお部屋の方だったので、部屋の窓から見えるかもしれないとお伝えしました。しばらくすると「あんた!見えるよ!すっごいきれいよ!」と教えにきて下さいました。お部屋へお伺いすると、窓の向こうにとてもきれいな月が浮かんでいました。「京都の娘も見てるんだって!」と現在、なかなか会うことができないご家族と電話でお話をされたようです。

また、ある男性利用者の方に今日が中秋の名月であることをお伝えしたところ「月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月」という歌を教えてくださいました。初めて聞く歌…。「満月は毎月見られるから年間多くの満月を見ることになるけれど、月を見るならやはりこの月の満月だ」という意味だそうです。素晴らしい歌を教えてくださいありがとうございました。

先ほどの京都のご家族と話された利用者の方が「月は一つじゃもんな。」と、離れた場所で同じ月を見ながら話が出来たことをとても喜ばれていたことが印象に残った、そんな秋の夜の一コマのご紹介でした。

介護職員 才本 雅之



### 〈4F〉《夏のカクテルパーティー》

4階8月の誕生日会は、カクテルパーティーを開催して大正13年生まれのU様(96歳)のお誕生日をお祝いしました。

まずは、U様とU様の生まれた大正13年の出来事を紹介。大正13年は、フランスでオリンピックの開催や当時の皇太子(昭和天皇)が皇后様とご結婚、阪神甲子園球場の完成や岩国のシロヘビが天然記念物に指定されるなどの様々な出来事が起こった年です。その年に生まれた著名人は、淡島千景さん(女優)竹下登さん(消費税導入を行った第90代内閣総理大臣でタレントのDAIGOさんの祖父として有名な方)村山富市さん(長い眉毛がトレードマークだった第81代内閣総理大臣)藤城清治さん(ケロヨン)のデザイン制作や影絵の絵本や歌手のMISIAのグッズを製作されるなどの業績を持つ若い方からお年寄りまで幅広い世代の方々(人気のある作家さん)など個性豊かな方々が生まれた年でもありました。

主役のU様も、御自身の生まれた年の出来事や同じ年に生まれた人の存在を知り驚いた顔をされていました。

そして、主役のU様は、スタッフのお手伝いと塗り絵を日課とされており、若い頃は絵を描くことが得意だったとのことで、色彩豊かな配色で塗り絵を仕上げ、職員や他の利用者様の目を楽しませてくれています。

今回の誕生日会のカクテルは、誕生日会のおやつメニューに提供された夏に咲くひまわりの花をデザインした和菓子に合う和のカクテルを考案しました。この和菓子に合うカクテルとして、筆者の好きな利休というカクテル(グリーンティーリキュール+グレープフルーツジュース+レモン汁少々)を提供したかったのですが、利用者様の中には、グレープフルーツジュースが苦手な方が多いと聞いた為、味と色彩などを研究した結果、グリーンティーレモネード(レシピは、グリーンティーシロップ+レモネード+ガムシロップ+レモン汁少々をシェイクする)というノンアルコールカクテルを提供させて頂きました。利用者の皆様も「美味しい」「よく頑張ってくれた」と言われておかわりをされ、このカクテルを楽しまれました。

また新しいレシピ作ることが出来たら、随時イベントで提供して、この木もれ陽に掲載させて頂きたいと思います。

介護職員 花田 倫広



## デイケアセンター

通所リハビリ

### ボードトレーニング

99点!



「プ・プ・プ・プー」皆さん何かと思われたでしょう!?

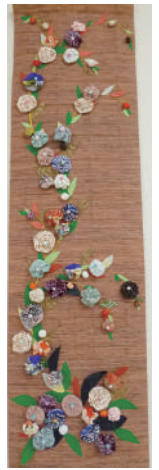
これは一部の男性利用者の中でプチっと流行っているボードトレーニングのスタートの合図です。今まで日の目を見ずにひそかにあった器具ですが、ここ最近大人気で毎日稼働しています。「どうしても100点がでない!!」「今日は集中力がなくて98点だった!!」・・・。一部のエリアでは活気のいい声が聞こえてきます。

たまに男性職員がちょっかいを出すように参加しています。かなりの集中力・動体視力が必要でなかなかいいリハビリになっています。



### デイケアの作品展示

皆さん2階のエレベーターを降りたらすぐに目に入ってお分かりの方も多いいと思います。かなりのクオリティーの作品を見ることができます。きっと楽しんでいただけたと思いますので是非見に来てくださいね。随時更新していきたいと思っています。



### 来年の干支に向けて

来年の事を言うと鬼が笑う・・・。なんてことを言いますが、ふと暦を見てみると今年もあとわずか!!一年の速さを身に染みて感じるようになりました。(私自身が・・・)

ということで、今年も来年の干支である『うし』を皆さんと協力して作成しています。

出来上がりは次号でご紹介できると思いますので、楽しみにしておいてください。



### コロナ禍でのデイケアの過ごし方

昨今のコロナ禍で自由に外出できず身体を動かす機会もめっきり減って身体がなまってしまっている方も多いと思います。当デイケアではリハビリの専門職の計画のもと利用者の方と一緒に目標を設定し、その目標達成に向けて一緒にリハビリを頑張っています。

近い将来このコロナを我々が克服し、自由に外出が出来るようになったその時の為に・・・。

皆さんもコロナに負けず歯を食いしばって一緒に頑張りましょう!!

リハビリだけではなく女性陣は編み物などをして色々なものを制作されております。



支援相談員 末次 博文



# デイサービスセンター

## 通所介護

### 今年はコロナ禍の中…

最大級の台風、そして連日の猛暑。南国土佐よりも岡山は今年暑かったのをご存じでしたか。

年々、瀬戸内でも大雨の頻度も高くなりつつあります。日頃から災害に備えて準備をしておきましょう。

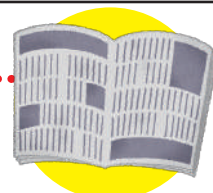
コロナの為、個々それぞれの楽しみを持たれ過ごされています。



新聞を読まれる様子



計算問題に取り組む様子



### 敬老の日

今年の敬老会は代表の利用者様が代表でプレゼントを頂戴しました。

昼食は心のこもった、幕の内弁当に感激され自然と笑顔が綻んでらっしゃいました。

『美味しいわー』と各席から聞こえていました。



式典の様子



お弁当



食事の様子

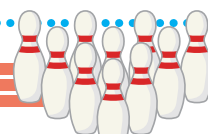
### 実習生によるボウリング

利用者の方々は「頑張るからな〜」と手作りボールを転がされています。

『おしかったなあー』『アァー！やったー！！倒れたわあ〜。』とあちらこちらから声が聞こえていました。束の間の楽しいひと時でした。



ボウリング



実習生は毎回趣向を凝らし企画されています。利用者全員が参加でき、残存機能低下・身体活動に役立っています。

午後からの個別機能訓練体操にも参加され、生活動作を保つよう心掛けています。



個別機能訓練

◎コロナ感染防止の為、  
手洗いの励行・  
マスク着用を  
心掛けましょうね。

介護職員 音羽 福恵

特別養護老人ホーム

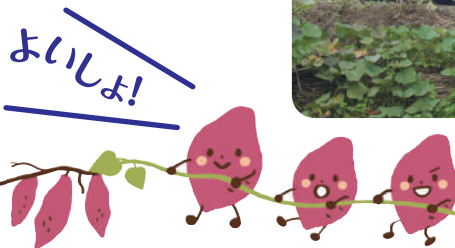
## 特別養護老人ホーム 憩いの丘

10/  
7 水

### 芋ほり

10月7日に秋晴れの下、菜園で育てた芋ほりを行いました。  
園芸クラブとして春に土を耕し、苗を植えて育ててきましたが今年例年以上に立派な大きな芋がたくさん収穫出来ました。  
利用者の方も大きな芋を持って嬉しそうにカメラに向かってポーズをとられていました。甘い安納芋でおいしいおやつが出来るのを楽しみにしています。

介護職員 板野 恵子



### 二宮鼓神社ご神幸

10/  
11 日

10月11日に地域の二宮鼓神社の秋祭りに合わせて憩いの丘でも御神幸が行われました。  
御神幸に合わせて朝食を終えて玄関前駐車場へ移動し、お待ちしました。  
宮司による祭事では利用者の方も玉串を納め、お参りさせていただきました。  
その後に舞姫による厳かな舞を披露していただき皆さん楽しめました。

ちなみにこの日の昼食はお祭りに合わせて豪華なちらし寿司をいただきました。



介護職員 渡辺 映子

# 憩いの丘 デイサービスセンター

## コロナ禍に負けない!!!

今年1月に突然始まった新型コロナウイルス感染症。通所介護は3密を避けられずリスクと隣り合わせで、現場では感染防止対策を講じているものの、利用者の中には利用自粛をされた方、利用自粛中の方がおられます。まだまだコロナは治まりそうにない為、体調管理・体力低下・身体機能の低下が心配になります。

実際利用者の方々は「いつもなら〇〇へ毎月行くけど行けん」「受診も行かずに薬だけ」「家から出られん」「ここに来るだけ」と活動量や運動量が激減しています。

久しぶりに利用再開した利用者の体力測定では、休む前と再開後では筋力や身体機能の低下が見られ、歩行が不安定になる等転倒リスクが上がってしまいました。コロナ禍の中でも感染対策を行ないデイサービスを利用し運動を継続されている方は、動作能力の低下はみられていません。私たちと一緒に通所介護に通い運動を行う事で、身体機能が維持出来ていると分かりました。

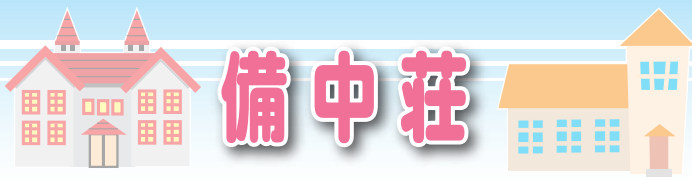
利用者の身体的条件は個々でそれぞれ異なります。前向きに運動を継続することで良い結果に繋がり、ご利用者の“最後まで自宅で生活”の目標達成のお手伝いが出ていますと感じています。

今後もただ身体を動かすだけではなく、楽しく、歌あり、笑いあり、笑顔あり、踊りありで、コロナに負けず皆で楽しく取り組んで行きたいと思えます。(家でできるトレーニングを指導しています)



管理者 吉岡 弘子  
機能訓練指導員 遠藤 彬浩





介護老人保健施設

## 備中荘 新管理者就任



令和2年10月より、併設の済生会吉備病院院長職と兼務して備中荘管理者に就任いたしました。

前任の仁科恭一郎先生は、医師として引き続き、当荘にて勤務させていただきます。

職員一同、引き続き吉備病院・関係機関等と連携を図り、「在宅復帰」「生活リハビリ」「地域貢献」等の更なる充実に尽力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

管理者 難波 洋一郎

## お盆の精進弁当、敬老の日の祝い膳

8月のお盆に“精進弁当”、敬老の日に“祝い膳”をお作りしました。

**精進弁当**には“精進”名の通り、動物性蛋白質を使用していません。それでいて蛋白質量を下げずに、また、ボリューム的に満足できるようにするためにはどうするかを、日清医療食品のチーフと頭を悩ませました。お寿司の上に味付け油揚げをのせたり、豆腐等を使用することで蛋白質を補えるようにし、ボリュームは、南瓜とトウモロコシを入れたかき揚げ、デザートにおはぎを入れることで出すようにしました。(ちなみにおはぎは手作りで、中のお米をお粥並みに柔らかい軟飯にし、こし餡を使うことでキザミ食の方まで召し上がっていただけます。)



**敬老の日祝い膳**は品数も多く、茶碗蒸しもあるため準備は大変ですが、今年にはコロナ禍で他のイベント等が出来なかったため、祝い膳の役割は重要！と思い力が入りました。

日頃摂取量の少ない方もこのお弁当の日は全量食べてくださったり、「美味しかったよ」と言ってくれる笑顔や、あっと言う間に空っぽになったお弁当箱が並んでいるのを見ると、少しでも役に立てたかなと思いました。

管理栄養士 谷口 直美

## 町内溝掃除



令和2年9月5日(土)に地域貢献の一環として、町内事前溝掃除を行いました。当日は、朝から暑い中、日頃の感謝の気持ちを込めて普段なかなかできない溝掃除や、草取りを行いました。ゴミ袋もあっという間に一杯になりました。とても綺麗になり利用者様にとっても過ごしやすい環境になったかと思えます。

これからも地域の皆様や利用者の皆様との結びつきを大切にしていけるよう、取り組んでいきたいと思えます。

介護職員 遠藤 直美

## 介護老人保健施設

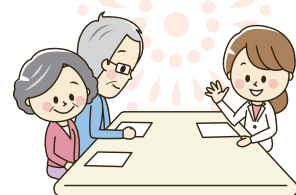
### 実習生を受け入れ

令和2年8月17日から5日間、美作大学生活科学部社会福祉学科より、社会福祉体験実習生を1名受け入れました。今回は、社会福祉士養成のための4年生で行う相談援助実習を前にした、社会福祉現場を知る体験的な実習でした。受け入れの打診があった当初は、介護老人保健施設の入所部門を中心に体験していただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため、入所フロアへの外部者の立ち入りが原則禁止されることになりました。体験実習の受け入れ可否を検討した結果、入所フロア以外で予定の期間、実習生を受け入れることになりました。

実習では、通所リハビリテーションにおいて、利用者とのふれあいを体験していただき、居宅介護支援事業所においては、利用者・家族の思い、在宅生活の実際を知ることを目的としました。また、併設医療機関として、済生会吉備病院の医療ソーシャルワーカーの仕事も見学していただきました。

学生にとっては、コロナ渦の中、通常以上に負担が大きい実習となったと思いますが、多くの関係者の協力もあり、無事に終了することができました。今回の体験実習を通じ、社会福祉現場に魅力を感じ、将来の道しるべになることを祈ります。

支援相談員 竹下 美枝



### 備中荘・済生会吉備病院合同消火訓練を実施

令和2年10月28日（水）に備中荘と済生会吉備病院合同で消火訓練を実施しました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、消火訓練も延期としていましたが、感染対策をとりながら実施ができました。

総勢14名が参加し、練習用の消火器や散水栓を使用し、コンを火元に見立て、火災発生時の対応方法や消火方法を学びました。防災盤の操作説明も受け、警報時の対応方法等も学びました。職員の防災・防火意識を高め、より安全で安心される施設にしていきたいと思います。

事務職員 市川 浩司



### 岡山済生会総合病院の新型コロナウイルス動画を視聴

岡山県でも新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しており、油断を許さない状況です。その中、済生会病院が新型コロナウイルスについての動画を作成し、当施設の職員も視聴しました。

動画だったので、とても分かりやすく、見逃したり、もう一度見たい所も何度も見る事が出来て、とても助かりました。

「新型コロナウイルスとは」から、はじまり、検査の方法、个人防护具着脱、外来受診の方法などがあり、個人的に印象に残ったのは、コロナウイルスが空気中で3時間、マスクの外側で最長72時間も生存するという事です。

当荘の利用者は高齢のかたであり、感染すると重症化しやすいとされています。絶対感染しないとは言いきれないコロナ渦になっているので、いつでも対応ができる様に、動画や当荘のマニュアルを更に整備していきたいと思います。

看護職員 西崎 恭子



## 夏祭り



8月21日夏祭りを行いました。  
 昼食から焼きそば、焼き鳥、たこ焼きと縁日メニューで「焼き鳥は久しぶりでおいしいわ」と気分が高まります。  
 昼食後は、お楽しみの夏祭り、祭囃子が流れお祭りムードを演出「ワクワクするね」とさらに気分が盛り上がります。今年ユニットごとに開催した金魚すくい、ヨーヨー釣り、輪投げ、射的などで「見てこんなに金魚が取れたわ」「わしの腕を見せてやろう」と明るい声があちらこちらに響きました。そして館内放送で皆様一斉に盆踊り。「ちびっこ音頭」「炭坑節」を踊り「上手に踊れたかしら」「やっぱり炭坑節はええな」と楽しまれました。綿菓子のプレゼントもあり、笑い声があふれました。

今年は新しい形式での夏祭りとなりましたが、同じ時間を共有し素敵な一日となりました。



介護職員 中原 朋之

## デイサービスセンター

### 敬老会



おめでとうございます。「ありがとうー」「もうちょっとで100じゃから頑張るでー」

デイサービスのご利用者様は元気で明るい90歳代が多いです。

感染予防のためホールに集まっていた式典はできませんでしたが全館放送でお祝いの言葉を聞いたり、君が代を斉唱したり、いつもと違う形での祝いになりました。少し寂しい気持ちを感じられるかと思います。それでも、それを逆手にとれるところはデイサービスのいい所！いつもは出来ないけれど今回だからできる事を！と職員で考え人形劇「桃太郎～御津の山から出発！鬼退治をして敬老会を開けるか～」を手作りして楽しみました。

看護職員 江田 知里

## 特別養護老人ホーム

### こども神輿

10月11日（日）こども神輿が行われました。

当日は、とても天気が良くて初めて参加する私はご利用者様と手袋とマスクをしてワクワクしながら待っていました。しばらくすると遠くから笛と太鼓の音が～♪自然に手拍子と「わっしょい！」の声が出てきました。そして、子ども達の手作りのお神輿が到着。トイレ休憩に行っている間に太鼓を叩かせてもらいました。みなさん「ドン！ドン！」と力強く叩いていました。その後、宇垣荘と子ども会でジュースの交換を行いデイサービスの利用者様が作った「パタパタ」をプレゼントしました。

コロナ禍でなかなかイベントが出来ない中で久々のイベントにみなさん「子ども達かわいかった～」「元気もらえたわ～」「楽しかったな～」「来年も太鼓が叩けるように鍛えておこう！」と笑顔で話されていました。来年は、私も叩かせてもらいたいです（^^）



介護職員 花房 めぐみ

## 敬老会

令和2年9月21日（月）、敬老の日記念式典が開催されました。国家斉唱から始まり、施設長の挨拶のあと、長寿のお祝いが行われました。

今年は、新型コロナウイルスの予防対策として、外部の方は招待せず、式場に入れる入所者もお祝いの対象者のみと制限し、席の配置も密にならないようにしました。

卒寿の方が5名、傘寿の方が4名と喜寿の方が1名おられ、園よりの特別祝いを受けられる方が6名で計16名の入所者が式典に参加されました。

それぞれの方に施設長より記念品が贈呈され、入所者代表より謝辞が述べられ式典は終了しました。

この後、いつもは日本舞踊の慰問があって入所者の皆さんをお祝いしていたのですが、今年は新型コロナウイルスの影響で呼び出すことが出来ず本当に残念でした。

来年は盛大に『敬老の日』をお祝い出来るように祈ります。

事務所 吉澤 和幸



## AED研修

日頃の業務の中で、入所者の思いがけない事故や急変に遭遇することがあります。入所者の皆さんは、様々な身体の機能が低下している為に、多くの病気を抱えておられます。そのために介護に携わっている職員はいつ何時緊急事態に遭遇するかわかりません。緊急事態に遭遇した時の心の中は、『どうしよう！どうしたらいい？』『パニック！パニック！なんで私の時なん？』『誰か助けてー！』となるでしょう。状態が変化した時や事故が起こった時ドキドキするのは誰でも同じです。そんな時にいかに冷静に対応できるか！

今回、自分の周りにも起こるかもしれないとっさの緊急事態に対応できるよう、事故防止委員会より《緊急時の対応》として、**AEDの使用方法について**の研修を行いました。目の前で倒れている人が心肺停止の可能性のある場合には一刻も早い救命処置が必要です。その時に必要なのが**AED**ですが、最近では、一般市民の方も講習を受けられていて、誰でも使用できるものとなっています。普通は、訓練用の人形を使用して心臓マッサージなどの実施訓練を行います。玉松園にはそうした備品がないため、クッションと縫いぐるみを人形に見立てての訓練でした。夜勤帯の人手の少ない状況設定で、連絡方法などを含め、2人で協力しての救命処置です。お互いに声を掛け合っ

て、テキパキと訓練に臨むことができました。

参加された職員の感想としては、『慌てずに実践するためには、定期的に研修に参加して、スキルアップを図りたい。』という声が聞かれました。



看護職員 片山 和美



## 秋のお楽しみ会in玉松園

今年は残念なことにコロナで、玉松園祭が、中止になりました。

一年に一度の玉松園の最大イベントであり、入所者の皆さんが楽しみにしてくれています。

また、外出や行事ごとにも無くなり、少しでも皆さんに元気を出して頂こうと開きました。

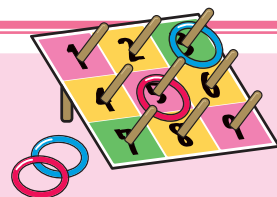
ただ、人数制限をしたり、時間を調節しながら、コロナ対策としてやっております。

喫茶コーナー・ゲームコーナー・バザーのコーナーがあり、喫茶コーナーでは、好きなおやつを選んで食べて頂いたり、ゲームコーナーでは、輪投げの輪が入った点数により景品をもらえたりします。また、バザーのコーナーでは、自分の好みや着れそうな服を選んだり、帽子やスカーフを見て『似合うかな?』『あんた~これえんじゃねん?』などお互いに選んだりして賑やかな楽しい時間を過ごされていきました。また、『来年は、玉松園祭あるんじゃないだろうか?楽しみじゃったのになあ~(笑)』『来年は、玉松園祭やって欲しいわ~』と、呟かれていました。

また、今年もあとわずかとなりました。早いものですね。

来年には、コロナも落ち着き、以前のような生活に戻りたいですね。

介護職員 八木 祐子



## 玉松園秋のお楽しみ会での喫茶コーナーの紹介



喫茶コーナーでは入所者の皆さんから、好きなおやつを事前にお聞きし計画しました。

当日は、「楽しみにしていたよ。」と笑顔で声上がり、ワッフル・どら焼き・たこ焼きの中から2種類選択され美味しく召し上がられていました。ワッフル&どら焼きの方、どら焼き&たこ焼きの方等、それぞれに好みのおやつが選択できたことでボリュームたっぷり「おいしかった。」「お腹いっぱい食べれたよ。」と大変に喜ばれていました。

入所者の皆さんも職員もほっこりとした一時でした。

計画作成担当者 田村 浩子



## 新型コロナウイルス感染しないために～

介護職員、看護職員、栄養士の参加で个人防护具の正しい着脱についての実技訓練を実施致しました。

☆着脱には手順があり、感染予防の為その手順を守る事が大切です。

☆新型コロナウイルスへの感染は、マスクやガウン等の个人防护具を脱ぐ時にも起こります。落ち着いて一つの動作が終わるごとに、アルコールでの手指消毒を心掛ける事が大切です。

防護具装着完成後「暑い、活動しにくいでも防護具の重要性がわかりました。」等の職員の感想です。

万が一施設内で感染者が発生した場合の為に実技は有効であると思います。

看護職員 榊山 幸枝





# 和みの郷かなや



養護老人ホーム

## 夏の思い出納涼祭



夏の暑さも厳しい8月6日、和みの郷かなやでは、コロナ禍の為、規模を縮小しましたが、毎年恒例の「納涼祭」を行いました。

第一部はゲーム。「スイカ割り」、「金魚すくい」、「的当て」を楽しみました。最初は、「できるかなあ〜」と言っていた方たちが、やってみると笑顔になり「こんなに金魚が捕れた〜」「スイカが割れた〜」と大きな声や笑い声をあげていました。

食堂には屋台メニューの昼食が用意され、焼きそばやたこ焼きなどの手作り看板も祭りの気分を盛り上げてくれました。「イカ焼き食うたか?」「うまいで!」と笑って話しながらいつもよりたくさん食べました。

第二部は盆踊りとおやつバイキング。各ゲームの優秀者への表彰も行いました。1日笑って、たくさん食べて、また一つ楽しい夏の思い出ができました。



介護職員 瀧口 康士

## 祝 敬老の日

9月21日：敬老会を開催しました。

国歌斉唱、施設長挨拶、新見市長のメッセージ（施設長代読）と粛々と式典は進み、支部岡山県済生会より長年の功績をたたえて敬老記念品が贈呈されました。代表で記念品を受け取った上川さんは「ありがとうございます」と話し、喜んでくださいました。

コロナ禍のため、規模を縮小し、来賓並びに慰問の方々もお招きしませんでしたでしたが、職員による祝吟『松竹梅』の披露もありました。

式典終了後の会食は、食べきれないほどのご馳走で「この料理はおいしいなあ!」「ピオーネもおいしいよ!」等と言いながら、いつもよりじっくり味わって楽しみました。

また、会場を飾った花は、「JA晴れの国岡山新見統括本部の花き部会」の皆さんが寄付して下さったリンドウを中心に職員がアレンジしたものです。大きくて豪華なリンドウの花に会場の皆さんも「きれいだなあ」と笑顔を咲かせてくださいました。



介護職員 宮田 泰浩

## 10月の誕生日会



10月21日に誕生日会を行いました。10月生まれの方は10名おられ、1年の中でも一番多い人数でした。1名の方は入院中で参加が叶いませんでしたが、昨年百寿のお祝いをされた上川富美子さんが101歳の誕生日会に元気で参加されました。食べるのがとても大好きで、その日の昼食もとても楽しみにしておられました。昼食には「松茸ご飯」が出ました。松茸の良い香りに誘われて、みなさん「おいしい、おいしい」と食が進んでおられました。

おやつの中には、誕生日ケーキを楽しみながら、職員の余興を楽しみました。みなさん笑ってくださり、コロナ禍の中、色々な行事を自粛していたので、職員の久しぶりの演芸を見て、楽しんでくださいました。 介護職員 田中 栄子

## うれしいサプライズ

毎年恒例になっていた、新見南小学校2年生による慰問の時期がきました。今年は、新型コロナの影響で小学生との交流会は残念ながらできませんでした。そんななか、生徒さんたちが何かプレゼントをしたいという事で、たくさんの作品を作ってくれました。先生が代表して生徒さんたちの作品を手にとり訪問され、入所者の方々が受け取り、そのお返しに、折り紙などで作った子供達が喜びそうな可愛い動物の置物をプレゼントしました。この置物を作った方は「また、子供達に早く会えることを楽しみに、新しい作品作りを頑張ります。」と笑顔いっぱいに話されました。いただいた作品は、レクリエーションの時間に楽しく活用しています。



計画作成担当 古屋 純子

## 避難訓練(夜間想定)

10月28日

新見消防署立会により、夜間想定での避難訓練を実施しました。

今回は、感染防止のために多数での密をさげ職員体制の訓練として、入所者の方々は待機をしておりました。

職員が入所者と宿直者に分かれ、出火から、初期消火、避難誘導までの流れを行い、また、入所者役職員は車椅子、毛布にて搬送などの体験を通して、誘導される気持ちを感じてもらいました。

避難誘導後、反省会を開き、消防署からの助言をいただきました。また、職員からの質問にも分かりやすい回答をもらい、次回の教訓にしたいと思います。

最後に、消火訓練を真剣に取り組みました。



生活相談員 黒川睦美



# トピックス

## 細菌とウイルスは違うって知っていますか？

ライフケアセンター薬剤師 酒井 律江

一般に風邪は抗生物質など抗菌薬が効かないと言われているのは何故？抗菌薬は細菌による感染症を治療する薬で、風邪は色々なウイルスが原因の感染症だから効かないのです。

そこで細菌とウイルスの違い、また新型コロナ感染症についてお話ししましょう。

### 1) 細菌とウイルスって違うの？

飲みかけのジュースをずっと置いておくと腐りますね。これは**細菌**がジュースの中に入って、含まれている糖分などを栄養源として勝手に分裂・増殖して細菌だらけになるからです。細菌は一つの細胞を持ち、栄養さえあれば、どこでも簡単に自分と同じ細菌を複製して増えていきます。ヒトに病気を起こすことがある有害な細菌に、大腸菌、黄色ブドウ球菌、結核菌などがあります。一方で納豆菌のように人の生活に有用な細菌もあります。

他方、**ウイルス**は細胞を持ちません。外殻の中にDNAまたはRNAという遺伝子が入った簡単な粒子です。細菌のように自ら栄養を摂って自分のDNAを増殖させることはできません。ウイルスの多いところにジュースを置いてもウイルスが増殖することはないのです。ウイルスは他の生物（例えばヒト）の細胞の中に入り込み、その細胞が持っているDNAやRNAの増殖機構を借りて増殖します。すなわち、他の生物の細胞の中に侵入して寄生しないと増えることができません。ヒトに病気を起こすことがあるウイルスに、インフルエンザウイルス、ヘルペスウイルス、B型・C型ウイルスなどや今大流行となっている新型コロナウイルスがあります。

### 2) 予防法は？

感染症の基本的な予防法は、まず清潔を保つこと。免疫力を低下させないことです。

- 清潔を保つためには、先ず手洗いです。日々の生活の中でできる非常に有効な予防法です。
- 免疫力を低下させないためには、栄養のバランスのよい食事、適度な運動、規則正しい生活、ストレスをためないことが大切です。
- 必要なワクチンを接種する（予防接種）。ワクチンを接種して、体内に免疫力を高め、実際に感染したとき急激に病原体が増えるのを抑えます。

### 3) 治療法は？

**細菌**による感染症には抗菌薬（抗生物質など）があります。抗菌薬は細菌の構造や増える仕組みのどこかを邪魔して、細菌を壊したり、増えるのを抑えたりする薬です。細胞の仕組みを利用して効く薬なので、細胞を持たないウイルスが原因の感染症には期待できないのです。

**ウイルス**による感染症には抗ウイルス薬（ウイルスの増加を抑える薬）を用います。しかし抗ウイルス薬はインフルエンザウイルス、ヘルペスウイルス、B型・C型ウイルスなどありますが、種類が少なく、対応できるウイルスはかなり制限されます。

さて、**新型コロナウイルス**が、2020年になって中国・武漢から世界各国に爆発的に広がり、日本国内でも感染拡大し、日常生活を一変させてしまいました。

新型コロナウイルスはまだ解らないことが多いのです。コロナウイルスは多くの種類があります。ヒトに感染するのは7種類といわれ、中でもSARS（重症急性呼吸器症候群）、MERS（中東呼吸器症候群）、そして今回の新型コロナウイルス感染症などは深刻な症状をもたらします。

新型コロナウイルス感染症は主に肺炎のような呼吸器系の症状を引き起こしますが、全身に重篤な症状が現れることもあります。特に基礎疾患（糖尿病、心疾患、呼吸器疾患）のある人や高齢者は重症化しやすく要注意です。致死率は2%～3%とされています。潜伏期間は1～12.5日（多くは5～6日）とされています。

1) どのように感染するの？

飛沫感染と接触感染が感染経路として考えられます。  
飛沫感染は咳やくしゃみでウイルスが飛び散り、周囲の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込み、体内に入り感染します。このような飛沫は1～2mほど飛び、物の表面に付着し、表面の素材によっては4～48時間ほど感染力を持ち続けるといわれます。  
接触感染はウイルスの付いた手で身の回りの物に触れ、それを他の人が触れ、その手で目や口、鼻を触ることでウイルスが体内に入り感染します。  
その他、排泄物やエアロゾル（空气中を漂う微粒子）なども考えられます。

2) 予防法は？

他の感染症と同様に、免疫力を低下させない、手洗い、マスクの着用、三密（密閉、密集、密接）を避けるなどが重要です。  
○手洗いは石鹸と流水で20秒以上手を洗うこと。  
○アルコール消毒は60～80%のエタノールを含有した消毒液が有効です。  
○マスクはウイルスの拡散や飛び散ったウイルスを吸い込む飛沫感染を抑えます。  
○換気をよくする。大勢集まる場所に行かない。そしてソーシャルディスタンスとして人との距離を1m以上（出来れば2m）あけて過ごすことが推奨されています。

3) 治療法は？

現在、承認されている治療薬はレムデシビル（エボラ出血熱用抗ウイルス薬）、デキサメタゾン（抗ステロイド・抗炎症作用）です。アビガン（インフルエンザ用抗ウイルス薬）は申請中です。しかし、これらは有効性、副作用などまだまだ精査の必要があります。承認されたワクチンはなく、特効薬やワクチンの一日も早い開発が待たれます。

★人命を守りつつ経済を活性化するというジレンマの中の自粛生活。（疑問は残りますが、10月になって、かなり自粛は緩和されました。）一日も早く有効かつ安全な治療薬やワクチンが開発され、元の平穏な生活に戻れますように！★



コロナ禍の中にあっても、各施設では様々な取り組みが行われています。新型コロナウイルス感染症との闘いは、今後も1年、2年と長期に亘ると言われており、これからの時期、インフルエンザなども含めた感染予防対策に十分留意したうえで、各施設の入所者、利用者の皆さんの状況に応じた、それぞれの施設の特性を生かした工夫が必要となります。  
今後も他施設の取り組みもお互いに参考にしながら、全職員の協力で、このコロナ禍を乗り越えていきたいと思います。

玉松園 宮安 健